

ラ フォレ セ ラ ヴィ ―森こそ命―



La Forêt, C'est la Vie !



三菱商事の支援により、ブルキナファソの首都、ワガドゥグ市内にある2つの小学校に井戸が出来ました！

2つの小学校から

この度のご支援に対し、心よりお礼申し上げます。当校は今回、手動ポンプ付の井戸と各教室への給水槽の設置、手洗い用品の配布、また野菜栽培のための資機材や講習等、多くの支援を受けました。

生徒たちとその保護者、教師たちはこれらのご支援を本当に喜んでおりますが、中でも井戸の設置には感謝の言葉もないほどです。と申しますのは、2002年の開校以来、当校にとって一番の問題は、いつも子供たちの喉の渇きを癒す水が足りないことだったからです。ですから、この井戸は私たちにとってこの上ない贈り物なのです。何と言っても水は生命の源ですから。皆さまに感謝致しますと共に、皆さまが神様の恵みを得て、更にご発展するようお祈り申し上げます。

(ノンゲンピロット小学校 校長 T・テレーズ・ノバ)

皆さまのご支援によって、当校に手動ポンプ付の井戸と菜園が設置された時、私たちは喜びに包まれました。しかし、私たちの喜びはそれで終わりませんでした。何と各クラスに給水槽と手洗い用の石鹸、バケツ、タライが設置されたのです。これらのご支援により、当校の子供たちは素晴らしい学校生活を送れることでしょう。

私は皆さまの尊い行ないに、本当に感謝しています。この気持ちを、十分に言い表すことが出来ないくらいに。それでも敢えて言うとしたら、「皆さま、本当にありがとう。神様のお恵みが皆さまの全てにありますように」でしょうか。どうか約束して下さい。皆さまが贈って下さった菜園から収穫された野菜を、いつの日か一緒に味わって下されると。最後にもう一度、子供たち、保護者、教師たちを代表して、心よりお礼申し上げます。

(ゾンゴナビテンガ小学校 校長 イエン・ソマ・テネ)



三菱商事の国際貢献事業

小学児童に対する飲料水供給ならびに栄養改善プロジェクト

「緑のサヘル」は、三菱商事株式会社より国際貢献事業の委託を受け、2009 年 8 月から首都ワガドゥグのノンゲンピロット小学校とゾンゴナビテンガ小学校で、「小学児童に対する飲料水供給ならびに栄養改善プロジェクト」を実施しました。



ワガドゥグの郊外に位置するこの 2 校は、敷地内に井戸や水道がないため、近郊にある共有井戸を利用していました。しかし、井戸は遠い上に人が殺到しており、水を汲むまでに時間がかかります。このため、子供たちの多くは、家から水筒を持参しなければなりませんでした。

また、両校とも給食が実施されていますが、資金的な問題から、野菜も肉も入っていない、栄養価が低い食事が供給されています。（写真右：完成したポンプ式井戸）

こうした状況を改善するため、私たちは学校の敷地内にポンプ式井戸を設置し、児童に衛生的な飲み水を供給すると共に、この井戸を利用して野菜栽培を進め、児童の栄養改善を図ることにしました。

2009 年 11 月下旬、井戸建設は無事完成し、その日のうちから子供たちが使い始めました。12 月下旬には、野菜栽培も始められました。子供たちと保護者、教師が協力して校庭に苗床を作り、トマトやタマネギ、キャベツ、ナス、ニンジン等の種が蒔かれました。（写真右：苗床作り）

現在、子供たちと保護者による水やりが続けられており、野菜は順調に成長しつつあります。収穫された野菜は、給食の食材として利用されますが、一部は販売されて学校の運営資金の一助となる予定です。



2010 年 1 月にはノンゲンピロット小学校で、井戸の引き渡しセレモニーが開催されました。当日は 100 人以上の方々が参加し、駐ブルキナファソ日本大使や三菱商事ダカール駐在事務所長兼アビジャン事務所長がスピーチを下さる等、盛大なセレモニーとなりました。また、子供たちや女性による歌、ダンス、寸劇なども披露され、学校関係者の皆さんの喜びを実感した一日でした。（写真左：大きく育ち、収穫間近となった野菜）

※三菱商事株式会社の環境・CSR の取組みについては以下のウェブサイトをご覧ください：
<http://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/csr/>



寝屋川市立梅が丘小学校による支援

昨年の9月1日、ブルキナファソの首都、ワガドゥグは未曾有の集中豪雨に襲われました。何と半日の間に、年間降雨量の約半分に当たる260mmの雨が降ったのです。このため市内は全域にわたって洪水に見舞われ、10万人を超える住民が被災しました。

市内の東部にあるウィディ小学校も、校舎が約80cm～100cmまで浸水し、教科書や机、秤など、多くの備品が破損・流失する等、大きな被害を受けました。10月1日には何とか新学期を迎えることが出来ましたが、教師や生徒たちは、その後も流れ込んだ汚水による衛生状態の悪化や、異臭に悩まされていました。



洪水の被害を受けたウィディ小学校。梅が丘小学校から支援が届きました。

このウィディ小学校とかねてから交流のあった大阪府寝屋川市の梅が丘小学校は、この窮状を知って「自分たちに何か手助けは出来ないか」と話し合い、6年生が全校に呼びかけて30,446円の寄付金を集めました。この寄付金は「緑のサヘル」によって現地に届けられ、各教室に給水槽と石鹸、手洗이용タワシが備え付けられることになりました。

これによって、ウィディ小学校の生徒たちは清潔な水で手洗いやうがいができることになりましたが、国境を越えた、子供たちによる子供たちへの思いやりに、「緑のサヘル」も大いに励まされました。

JICA 草の根技術協力事業（これから予定している活動）

前号でお伝えしたとおり、現地では農業生産の向上に向けた活動が続けられています。現在は耕作地に雨水を溜め、土の流出を防ぐための石堤の設置や有機堆肥作りといった、穀物の栽培時期である雨季に向けた準備が着々と進められています。また、2010年に新たに予定されている活動としては、「家畜飼育」と「野菜栽培」があります。



湖岸に近い栽培地では、トマトやトウモロコシが栽培されています。

現在、活動を実施しているバム湖周辺地域では、現金収入を得るための手段として、購入した子羊を育て、大きくした後に販売する「肥育」が行なわれています。肥育は雨季に行なわれるため、飼料となる草が不足する心配がなく、手間もかかりません。

野菜栽培は、湖の周辺地で9月ごろから始められます。この地域では野菜栽培が盛んで、インゲンやタマネギ、ニンジン、トマトなどが作られています。生産物は、地域内だけでなく、販売業者によって近隣のガーナやコートジボアール、また遠くヨーロッパまで輸出されています。収入の創出と強化に繋がることを期待しています。

タンザニアから



難民キャンプ周辺荒廃森林等保全・復旧事業

本事業の現地協力団体である REDESO（社会開発支援）は、2009 年に事業対象村であるムグンズ村の環境委員会や、同村内に設置されたルガンド植林地区の栽培者に対し、地域の自然環境などについてアンケート調査や家計調査を行いました。その結果の中から、ルガンド植林地区での農作物栽培についてご紹介します。

ルガンド植林地区で栽培されている 人気農作物ベスト3

- 1 位 グランドナッツ
- 2 位 キャッサバ
- 3 位 ヒヨコマメ

1 位と3 位で挙げられたマメ科の植物は、「肥料木」とも呼ばれ、化学肥料に頼ることなく森林の土壌形成に貢献し、ルガンド地区のような荒廃地でも成育することができます。また、キャッサバも同様に悪環境下でも成育が可能であるほか、挿し木を利用することできるので、育苗にかかる手間やコストがかからないという利点があります。



2007 年の植栽区で収穫されたキャッサバ

実際、現地滞在中にムグンズ村の各家庭を訪問した際には、ウガリ（トウモロコシやキャッサバを湯で練って蒸したもの）と豆のスープを食べている様子がよく見かけられました。また、植物油を購入するだけの余裕がある家庭では、キャッサバの素揚げを好んで食べています。

植林区内での農作物栽培に関しては、農民の意向に任せて作物の選択をしています。住民たちは自然環境が荒廃した土地にあって、その地域で入手でき、土壌回復にも効果がある作物を積極的に栽培しています。そして、それらの収穫物を利用した料理が自然と庶民の家庭の味を育んでいる、ということにとっても感銘を受けました。

チャドから



今年も、食糧事情の厳しい時期を迎えました

例年、乾季の終盤からは、次の収穫まで補充の当てがない厳しい時期を過ごすことになります。今年は特に厳しく、食糧事情に関する情報を発信しているアメリカの「早期警戒システム（FEWSNET）」では、今後チャドの北部で深刻な食糧不足が発生する可能性が高い、と予測しています。また、チャド政府は、「2009 年の穀物生産は、雨季の遅れと降雨が不規則であったことが原因で、例年と比べて 30% 減少した」と発表しました。

チャド北部では畜産が盛んなのですが、降雨不足によって飼料となる草が少なくなり、家畜の死亡が続いています。食糧が不足すると、もっとも悪影響を受けるのは子供です。通常であれば栄養不足を牛乳などで補えるのですが、現状では期待できません。また例年、乾季になると、移牧を行なう人々は水と草を求めて南部へと移動し、農耕を行なっている住民との間でいさかいが起こります。今年は、北部の状況が厳しいため、とりわけ激しくなることが予想されます。

チャド政府は、当面の緊急策として、23,000 トンの穀物と 350 トンの米、200 袋の家畜飼料の支援を決定しました。国際機関や NGO も緊急対策を開始しています。これから、緊迫した 6 ヶ月が始まります。

国内活動



今期もシンポジウムや講演、恒例のチャリティ・ナイトなど、イベントが目白押しでした。2月には、ブルキナファソから一時帰国した現地調整員の町と、現地研修を終えたインターンの松本による報告会も開催しました。

< 東京事務局での主な活動一覧 >

2月 9日(火)	チャリティ☆ナイト 「チョコレートと児童労働」	共催	
19日(金)	シンポジウム 「みんなで守り育む世界の森～企業と NGO/NPO のパートナーシップによる森林保全活動～」	活動 紹介	(菅川)
23日(火)	第41回帰国報告会 「アフリカ・ブルキナファソにおける取り組み ～環境の保全と農業収穫の向上を目指して～(町)」 「インターン研修報告(松本)」	講演	(町・松本)
3月 3日(水)	愛知県立名古屋西高等学校	講演	(菅川)
9日(火)	チャリティ☆ナイト 「アフリカの紛争地で暮らす女の子たち」	共催	
4月 13日(火)	チャリティ☆ナイト 「Volvic『1ℓ for 10ℓ』プログラムの舞台裏」	共催	
22日(木)	JICA 地球ひろば 月間国別特集(ブルキナファソ) 「北部に住む人々の暮らしと、私たちの取り組み」	講演	(町)

第41回帰国報告会の開催

2月23日(火)、東京の環境パートナーシップオフィスにて、「第41回緑のサヘル活動報告会」を開催しました。報告会では現地で研修を行ってきたインターンの松本がブルキナファソの紹介と事業に対する感想、一時帰国中のブルキナファソ調整員の町から現地のプロジェクトの報告がありました。

また、参加して下さった方に、現在養蜂活動を実施しているロルガ村とタンギエマ村で収穫した蜂蜜の試食をしていただきました。とても甘く独特な香りがする蜂蜜はとても好評でした。当日はNPOやJICA職員、アフリカにおける国際協力に興味がある一般の方々など、様々な方が参加して下さいました。



JICA地球ひろば「西アフリカ・ブルキナファソ」写真展・セミナー開催

東京都広尾の「JICA 地球ひろば」では「月間国別特集」と題し、毎月様々な国を紹介しています。3月30日から5月2日まではブルキナファソが取り上げられ、「緑のサヘル」も活動写真の展示や町現地調整員によるセミナー(「西アフリカ・ブルキナファソ～北部に住む人々の暮らしと、私たちの取り組み～」:4/22)で参加しました。





チャリティ・コンサート開催

長年にわたって支援を続けて下さっている「アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会」を中心に、「(財) いけだ市民文化振興財団」と「中西クリニック」が主催するチャリティコンサートが、6月13日に大阪府池田市民文化会館にて開催されます。

国府弘子さんは、幅広い音楽性を持ったピアニストで、全国各地でのツアーや各方面のメディア、執筆活動などを精力的にこなすピアノ界のスーパーレディ。そして、塩田美奈子さんは、ソプラノ歌手、オペラ女優として世界を舞台に活躍し、様々な受賞実績を持つ今注目の実力派オペラ女優です。

このコンサートで得られた収益の一部は、「緑のサヘル」に寄付され、現地での活動を支える大きな力となります。現在、下記連絡先にて前売り券発売中ですので、ぜひお越し下さい！



* 池田市民文化会館 Tel 072-761-8811 * (財)いけだ市民文化振興財団 Tel 072-750-3333

* アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会 Tel/Fax 072-761-0508

* 中西クリニック Tel/Fax 072-762-7275

緑のサヘル東京事務局から、ちょっとだけお知らせです

町現地調整員の奥さんが3月28日に女の子を出産しました。なんと、偶然にも3月28日は「緑のサヘル」の創立記念日です。また、その前日の3月27日は町調整員の誕生日で、おめでたいことが重なりました。名前は「咲希」といい、とてもおとなしいのですが健康に育っています。いつか、サヘル地域に希望を咲かせる人になるかもしれません。



お疲れ様でした！

2009年8月に「緑のサヘル」に参加して下さいました 松本 さほり さんが7ヶ月間のインターン期間を終了しました。青年海外協力隊 OG らしく、行動力が旺盛で事務局の即戦力として活躍して下さいました。ありがとうございました！



「充実した時間を過ごしていると時間はあっという間に過ぎて行きますが、『緑のサヘル』でのインターン期間はまさしくそれでした。国内業務、様々な研修への参加、現場での活動、多岐に渡って勉強させていただくことが出来ました。インターン期間は終わりますが、これからもボランティアとして、支援者として末永く『緑のサヘル』と関わって行きたいと思います。貴重な経験を積ませて頂き、本当にありがとうございました。 松本 さほり」

ありがとうございました

*敬称は略させて頂きました。

【 新規会員のみなさま 】

船田クラークンさやか
(株)エスケーサービス クリーニング事業部 コスモシーイファン

【 継続会員のみなさま 】

立屋敷哲／和田隆資／林裕之／菅沼浩敏／矢野友一郎・正代／猪股秀章・満希子／田中ちえ子
門村浩／碓井道子／野々山富雄／西村歩／澤井温子／福川佐代／岩永孝子／畑中健一
大久保久美子／榎本雅子／山根二郎／(特活)アーユス仏教国際協力ネットワーク

他 匿名をご希望の方 1名

【 ご寄付頂きました 】

太田宜子／猪澤ななみ／松本幸／杉田秀子／田端かおり／太田豊志／山本敦子／中尾進一・康子
小林伸張／加藤正博／星野琴江／野村知義／高橋美穂／山根貞夫／高原和子／石井雅幸／大内徹
榎本みつ枝／中村陽子／大内順子／武田てるよ／手塚太郎／信野正夫／田中ちえ子／高松千枝子
秋山美知子／渡辺由美／山田静子／小笠原弘子／小池昌子／碓井道子／佐藤京子／玄場儀臣／松岡亜湖
西村歩／米原すみ子／井上茂／山崎徹也／江刺和広／堀越信代／柏秀樹／大原緑／木嶋清江
泉裕子／小千谷国際協議会会長 小池和明／(学)大阪信愛女学院／尼崎聖ステパノ教会有志
個別教育フォレスト／(有)オルト代表取締役社長 梁好文／小百合幼稚園／Think the Earth Shop

他 匿名をご希望の方 1名

【 ハガキ・切手などを頂きました 】

那口真理子／野々山富雄／須江かおる

他 匿名をご希望の方 1名

上記は2010年2月1日から2010年4月30日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、2010年5月1日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。また、ご芳名の掲載につきましては、お名前の公開を承諾された方のみを掲載させて頂いています。あらかじめご了承下さい。

【 協力団体・助成団体 】

(財)毎日新聞東京社会事業団／サヘル緑化ファンド(管理団体：(財)大阪国際交流センター)
(独)国際協力機構(JICA)／(財)イオン環境財団(環境活動助成)／グリムス(gremz)
(財)国際緑化推進センター／(財)農村更生協会 八ヶ岳中央農業実践大学校
アフロ・フレンチレストラン 神楽坂トライブス／(特活)国際協力 NGO センター／
(特活)環境アリーナ研究機構／(特活)ハンガー・フリー・ワールド

画像を提供しました



(株) ビービーメディア

政府広報テレビ CM「チャレンジ 25」

新潟県長岡市 シティホール準備室

環境配慮型公共施設の PR

小中学生向け環境学習の教材

(株) 東京書籍

中学校教科書 平成 24 年版
「新しい社会 地理」

(株) 汐文社

児童書企画

「100 円からできる国際協力」



おしらせ

iPhoneに寄付サイトができました！



アップル社が開発した携帯電話のひとつであるiPhoneに、「igreen」という寄付サイトのアプリケーションが誕生しました。「緑のサヘル」も、支援先の団体として紹介されています。

「igreen」からのご支援による現地での取り組みは、活動レポートの更新によって知ることが出来るようになっていきます。iPhoneをお持ちの方は、ぜひ試してみてください。

注) iPhone とは、アップル社が開発した携帯電話の一つで、通話だけではなくインターネットへの接続を重視したさまざまな機能が搭載されています。

【 もくじ 】

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1・・・表紙 | 5...国内活動 |
| 2・・・ブルキナファソから | 6...事務局より |
| 3・・・ブルキナファソから | 7...ありがとう |
| 4・・・タンザニア・チャドから | 8...お知らせ |

< スタッフのひと言 >

●この間、寄生虫博物館に行ってきました。身をもって体験した一部に限っては、身近に感じました。(岡本)
 ●アフリカから遠く離れたアイスランドの火山噴火の影響をモロに受け、やっとの思いで帰国しました。(菅川)
 ●赤ちゃんの夜泣きで寝不足になり、仕事中に睡魔が襲ってきます。(町)
 ●今年の連休は、親戚たちと温泉旅行に出掛けてゆっくり過ごせました。(鈴木)
 ●帰国直後から花粉症に悩まされる日々が始まりました。(木藤)
 ●久しぶりにソフトテニスをしたら、全身筋肉痛で動けなくなりました。(小川)

ご贈答品・ご挨拶にどうぞ

ハケ岳農場の特産品

ハケ岳中央農業実践大学校の特産品がさらに充実しました。これまでの手作りチーズとアイスクリームに加えて、チーズケーキ、カレー、ソーセージなどハケ岳の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々が勢揃いの10セットです。各地への送料を含めた価格は下記の表にございます。大学校のご厚意により、お求めごとに定価の20%が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】 郵便振替用紙にご依頼人様とお届け先様のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振り込みください。

00140-9-50425「緑のサヘル」

お振り込みから到着まで10日程かかります。

		関東 信越 北陸 中部 南東北	関西 北東北	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
B	アイス20個	6,400	6,500	6,610	6,710	6,810	7,020
C	チーズ	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800
D	アイス / ケーキ2種	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
E	ムース	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
F	ケーキ	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
G	カレー / チーズ	5,000	5,100	5,210	5,310	5,410	5,620
H	ケーキ2種	3,230	3,330	3,440	3,540	3,640	3,850
I	カレー	3,580	3,680	3,790	3,890	3,990	4,200
J	チーズ / ソーセージ	5,730	5,830	5,940	6,040	6,140	6,350

内容の詳細をご希望の方は、事務局までご連絡ください。詳細チラシをお送りいたします。

La Forêt, C'est la Vie !

Vol. 42

編集 岡本敏樹 町慶彦 鈴木香織 小川桂／発行 菅川拓也／印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町16番地 田澤三ビル3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041